

取扱説明書

改訂版⑥

ブロアー&バキューム

HG-BV3405

混合燃料
40:1

上記以外や 25:1~50:1 のような
幅を持たせた混合燃料使用不可

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



この QR コードを
読み取ることで、
本製品の組立て、操作方法
などを動画で
ご覧いただけます。



目次

はじめに	3	長期間使用しない時	25
安全上のご注意	3	本機を2週間以上使用しない時	25
製品を長くご愛顧いただくために	3	故障かな?と思ったら	26
安全にお使いいただくために	4	●エンジン関連	26
ブロアー&バキュームに係る安全事項	4	●オイル関連	26
ブロアー&バキューム機の作業に係る安全事項	5	故障かな?と思ったら(点火プラグの点検)	27
安全ラベル	6	消耗品一覧	28
主要諸元	7	FAX 見積り・注文用紙	29
振動障害の防止	7	保証内容について	30
各部の名称	8	お客様ご相談窓口	31
梱包部品一覧	9		
組立て	10		
ブロアーとして使う場合	10		
バキュームとして使う場合	11		
運転前の点検	14		
混合燃料 40:1 の作り方	14		
燃料の点検・補充	15		
エアクリナーの点検	15		
運転操作の仕方	16		
エンジンのかけ方	16		
エンジンの止め方	19		
ロックボタンについて	19		
安全スイッチ	19		
作業の仕方	20		
ブロアー機能を使う	20		
肩掛けストラップの調整	21		
バキューム機能を使う	21		
点検整備・清掃の仕方	22		
エアクリナーの点検・清掃	22		
点火プラグの点検・清掃	23		
キャブレターの点検	23		
燃料の抜き方	24		

はじめに

このたびはブロアー&バキュームをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

製品を長くご取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。



注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

ブロアー&バキュームに係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・本製品は、落ち葉・枯れ葉などを集めたり吸い込んだりする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。・燃料キャップは確実に閉めてください。・チューブの取付けは確実に行ってください。・必ず両手でしっかり本体を保持してください。・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。・本製品をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・古い燃料は使用しないでください。・40：1の混合燃料以外は使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料は40：1の混合燃料を使用してください。・本製品をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・定期点検整備を行ってください。



安全にお使いいただくために

ブロアー&バキューム機の作業に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は使用しないでください。• ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。• 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。• 不安定な場所、姿勢で使用しないでください。• 急傾斜地では使用しないでください。• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。• 機械の可動部分に絡まるような衣服は着用しないでください。• エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。• 人やペットにノズルを向けて使用することは絶対にしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 運転中は、排気ガスに十分注意してください。• 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、保護メガネ、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。• 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。• 適切な時期に休憩をとってください。• 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。• 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。• 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、完全に止まってから燃料タンクから燃料を抜いてください。• ブロアー作業中は常に風向きを考え、風上から風下に移動をしてください。• 風圧により本体が振られる場合があります。ハンドルをしっかり保持してください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 機械の可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。• エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。• 石、金属片、ガラスなど硬質な物に向けて使用しないでください。• 金属片・針金やガラスなど鋭利なものや石など硬いものは吸い込まないでください。• 火の付いたタバコなどを吸い込まないでください。• 液体や薬品などを吸い込まないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 作業中に異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。• 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。• 本機を長時間保管する時は、取扱説明書に従って保管してください。• 屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、子供の手の届かない場所に保管してください。

注意

<ul style="list-style-type: none">• 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。• 燃料タンクに、2 ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。• 燃料タンクに 4 ストローク用オイルを入れしないでください。
--

安全ラベル

本製品の本体に下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容、添付位置は製品改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



不注意または不適切な使用で怪我をする恐れがあります。



ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。



常に保護手袋を着用してください。



防護メガネ、耳栓、マスクを着用してください。



ブローア使用時は、砂利などが跳ね返り、作業者が怪我をする可能性があります。



作業者は、傍観者や動物を15メートル以内に近付けないでください。同じ作業領域で作業している場合は、安全な距離を維持してください。お互いから少なくとも15メートルです。



使用中及び使用後はマフラー周囲が高温になります。やけどの恐れがあります。



素手でインペラブレードを触らないでください。



バキュームを使用する場合、乾燥した葉、草、小さな小枝、紙などを吸い込むように設計されています。

砂利、金属、破損したガラスなどは絶対に吸い込まないでください。

インペラに深刻な損傷を与え、故障の原因になります。



使用中及び使用後はマフラー周囲が高温になります。絶対に触れないでください。



感電の恐れがあります。絶対に素手で触れないでください。



危険
火気厳禁



警告
1.火気厳禁
2.ガソリンのみの使用は不可
3.指定混合燃料以外の使用は不可

主要諸元

モデル名	HG-BV3405
エンジン	2 ストローク空冷エンジン
排気量	25cm ³
燃料	混合燃料 (40 : 1)
燃料タンク容量	0.4L
始動方式	リコイルスターター
ブロアー最大風速	62.7m/s
ブロアー最大風量	10.6m ³ /min
バキューム最大風速	47.5m/s
バキューム最大風量	14.5m ³ /min
ダストバッグ容量	40L
本体サイズ (L × W × H)	325 × 270 × 350mm
重量	本体 4.7kg/ ブロアー重量 5.4kg/ バキューム重量 6.2kg
3 軸合成値	2.194m/s ² K=1.5

◎ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
 そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
 また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

● 1 日の使用時間について

1 日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

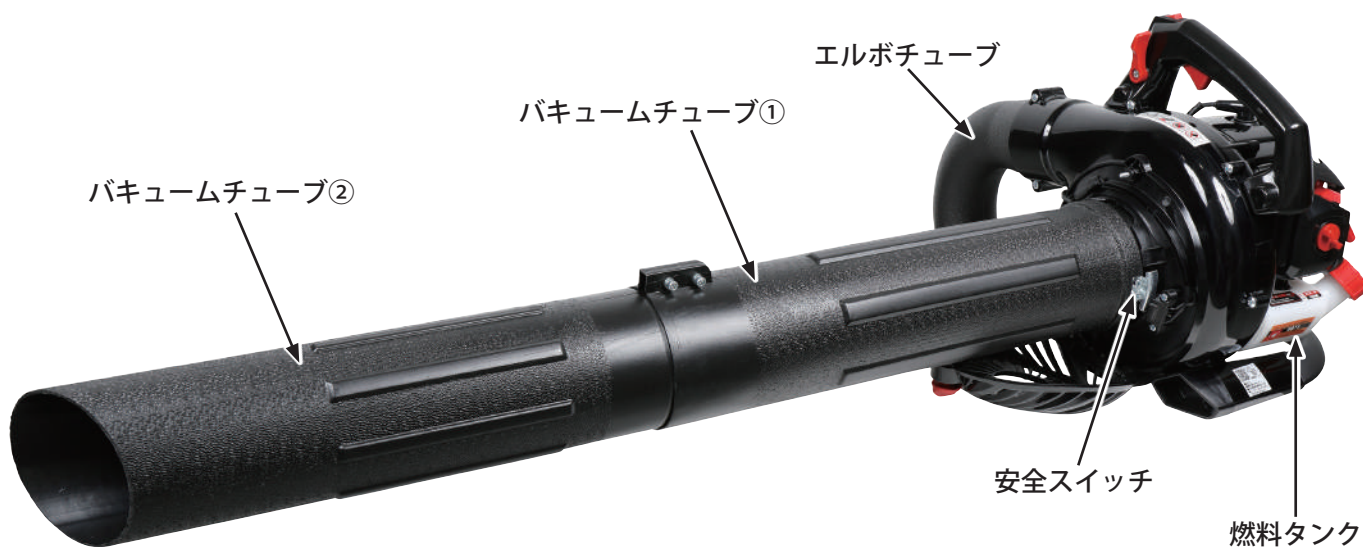
① 10m/s ² より小さい場合		② 10m/s ² より大きい場合	
1 回の連続作業時間	10 分以内	1 回の連続作業時間	10 分以内
1 日の作業時間	2 時間以内	1 日の作業時間	T : 1 日の最大作業時間 $T=200 \div (a \times a)$ a : 周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値 (m/s ²)

● 製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 直噴チューブ</p> 		
<p>F. エルボチューブ</p> 	<p>C. ノズルチューブ</p> 		
<p>G. ダストバッグ</p> 	<p>D. バキュームチューブ①</p> 		
<p>H. 工具</p>  <p>※ H-1 は通常使用しません</p>	<p>I. ボルト・ワッシャ・ナット</p> 	<p>J. 混合タンク</p> 	<p>K. 先端ノズル</p> 

※製造時期により仕様変更になる場合があります。

組立て

警告

- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。
- 組立には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

ブロアーとして使う場合

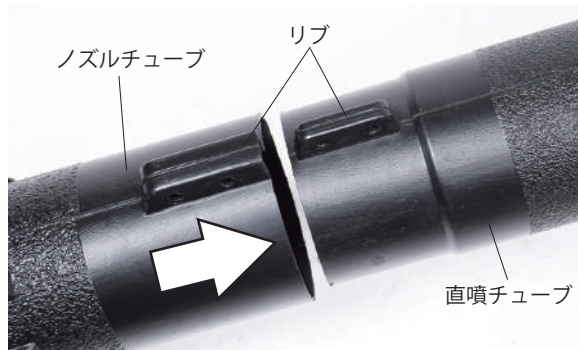
- 1** 本体のチューブ取付口上下の六角ボルトを緩めます。



- 2** 直噴チューブをチューブ取付口に挿込み、六角ボルトを六角レンチで締付けます。
※入りにくい場合は、ボルト・ナットを外します。(紛失注意)



- 3** 直噴チューブとノズルチューブのリップの位置を合わせ、ノズルチューブを挿込みます。

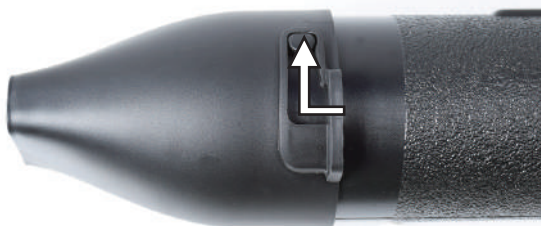


- 4** ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを通し取付穴に挿込み、反対側からナットで固定します。



組立て

- 5** 先端ノズルを取付けます。



バキュームとして使う場合

- 1** ノブを回し取外し、エルボチューブを分離させます。



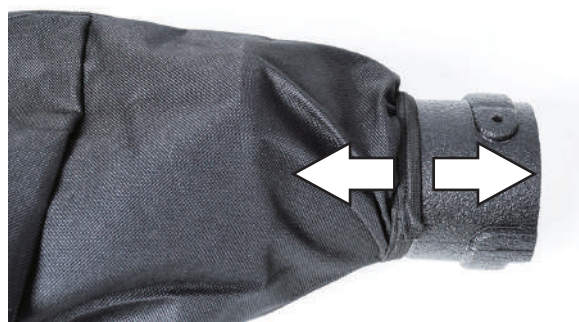
⚠️ 注意

ノブを紛失しないようご注意ください。

- 2** ダストバッグのジッパーを開き、エルボチューブ先端部のみを入れます。



- 3** エルボチューブ先端部をダストバッグの小さな開口部に通します。この時、チューブとバッグに隙間が出ないようにエルボチューブを引っ張ります。



- 4** 分離したエルボチューブを接続し、ノブで取付けます。このノブを回し取外すことで、エルボチューブを分離することができ、吸引した枯れ葉等を捨てる際、本体ごと移動する必要がありません。



- 5** チューブ取付口上下の六角ボルトを緩めます。
※入りにくい場合は、ボルト・ナットを取外します。(紛失注意)



組立て

- 6** エルボチューブのリブがブロアーチューブ取付口と位置と合っていることを確認し挿込み、六角ボルトを締付けます。



- 7** ダストバッグのジッパーを閉じます。

- 8** バキュームチューブ取付カバーのノブを反時計回りに回し、カバーを開いた状態のままにします。

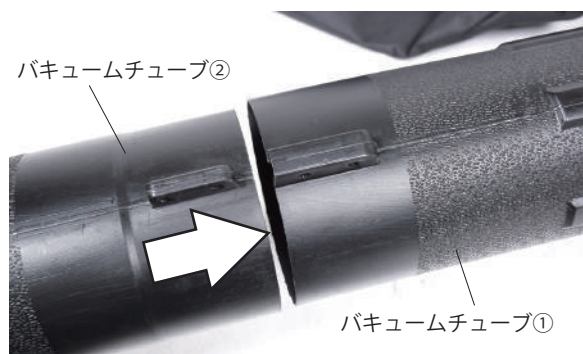


- 9** 本体の凸部分にバキュームチューブの凹溝部分を合わせ挿込み、反時計回りで固定します。
※バキュームチューブは太めのため、一人では回しにくいので2人で行うことをおすすめします。

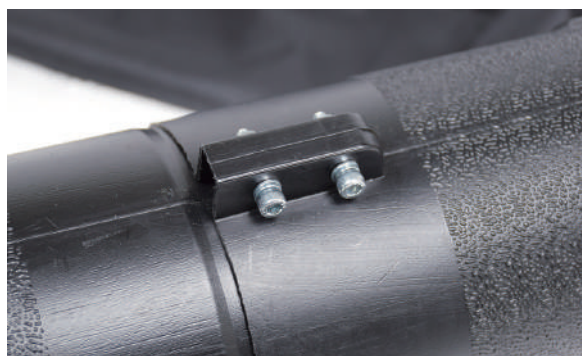


組立て

- 10** バキュームチューブ①とバキュームチューブ②のリブの位置を合わせ、バキュームチューブ①にバキュームチューブ②を挿入します。



- 11** 付属のボルト・ナットで固定します。



- 12** 完成です。



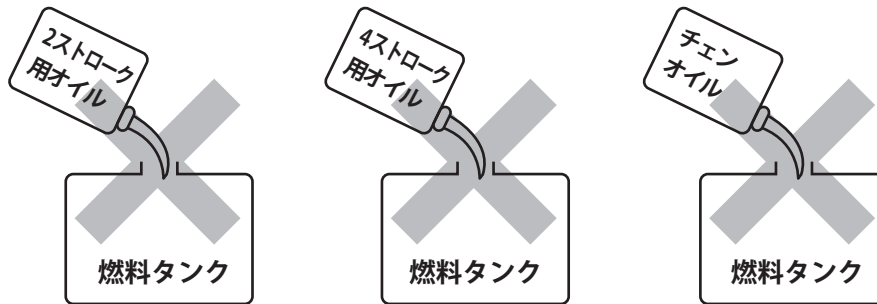
運転前の点検

警告

- ・ エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・ 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・ 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・ 燃料をこぼさないように注意してください。
- ・ 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・ 燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・ 混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・ 燃料キャップは確実に締めてください。
- ・ 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気の無いところに保管してください。
- ・ 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・ 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



混合燃料 40:1 の作り方

市販の 25 : 1 ~ 50 : 1 というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。
エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
 - ・ 2ストローク用オイル JASO FB 級以上
 - ・ 漏斗(じょうご)
 - ・ 混合タンク(付属)
 を準備します。
- 2 混合タンクを 40 : 1 と表示されてる向きにします。
- 3 混合タンクの「OIL 40:1」が表示してある面を向け、無鉛レギュラーガソリンを 40 : 1 の「GAS」のラインまで入れ、2ストローク用オイルを「OIL」のラインまで入れます。



- 4 混合タンクのキャップをしっかりと閉め、混合タンクを振り、カクハンします。

40:1 ガソリン オイル割合 早見表	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
	100ml	2.5ml	400ml	10.0ml
	200ml	5.0ml	500ml	12.5ml
	300ml	7.5ml	600ml	15.0ml

運転前の点検

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

使用燃料	混合ガソリン (40 : 1)
------	-----------------

■ 燃料の給油

- 1 混合燃料(40:1)を準備します。
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 混合燃料(40:1)を、少しずつこぼさないよう漏斗(じょうご)等を使い給油します。
- 4 給油が終わったら燃料キャップをしっかりと閉めます。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。(詳細は P.22 参照)



運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。
- 回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。



指示

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- 本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

バキュームチューブ取付カバーが確実に閉まっていることを確認してください。不十分ですと安全スイッチが働きエンジンはかかりません。(P.19 参照)

■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

- 1** エンジンスイッチを ON 「|」側にします。



- 2** プライマリーポンプを数回押し、燃料が溜まっていることを確認します。



- 3** チョークレバーを「閉」左方向に動かします。



注意

アクセルトリガーがロックされていると、チョークレバーは固定されません。



運転操作の仕方

- 4** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真つすぐに素早く60～70cm引張ります。
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



⚠️ 注意

チョークレバーを「閉」の状態、リコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。

- 5** 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5回繰り返します。

⚠️ 注意

- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

👉 リコイルの引き方ポイント

※写真は、別機種



- ① 良い例：約70cm引いている所。
② 良い例：穴に対してロープが真つ直ぐ。
③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

● 初爆が確認できた場合

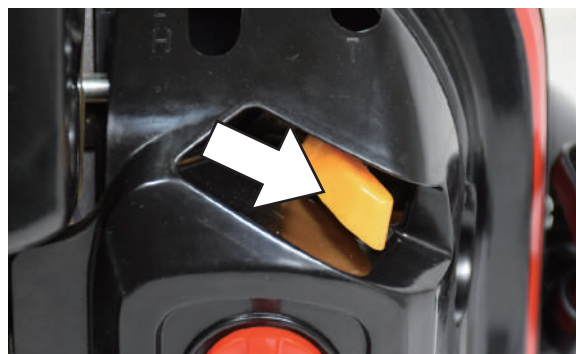
- 1** チョークレバーを「開」右方向にします。



- 2** リコイルスターターを素早く数回引きます。
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 3** エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。

● 初爆が確認できなかった場合

- 1** 万が一初爆を聞き逃した場合でも、リコイルスターターを引くことは5回でやめてください。それ以上行くと点火プラグを燃料で濡らしてしまいエンジンがかからなくなります。
- 2** チョークレバーを「開」右方向にします。

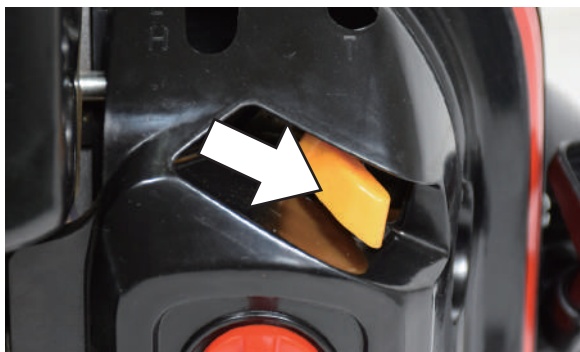


- 3** リコイルスターターを素早く数回引きます。
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 4** エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。

運転操作の仕方

●初爆と同時に始動した場合

- 1** チョークレバーを「開」右方向にします。



- 2** そのまま暖気運転を 30 秒程度行います。

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

- 1** エンジンスイッチを ON 「|」 側にします。



- 2** プライマリーポンプを数回押し、燃料が溜まっていることを確認します。



- 3** チョークレバーを「開」右方向にします。



- 4** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真つすぐに素早く 60 ~ 70cm 引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。

※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



⚠注意

- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 一度に 6 回以上は引張らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 5** エンジンがかからない場合は、P.16 の「エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

- 6** アクセルトリガーを握るとエンジンの回転が速くなります。



運転操作の仕方

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーより手を放し、低速運転にします。

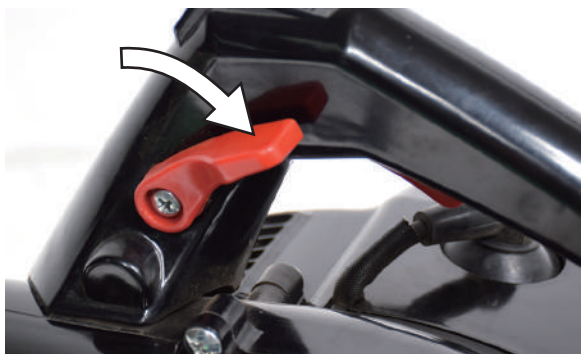


- 2 エンジンスイッチを OFF 「○側」に押しします。



ロックボタンについて

- 1 アクセルトリガーをいっぱい握ってからロックボタンを手前に引くと、アクセルトリガーを放してもアクセルトリガーが固定され連続運転します。



- 2 アクセルトリガーを戻すには、ロックボタンを戻すとアクセルトリガーも戻ります。

安全スイッチ

バキュームチューブ取付カバーが、確実に閉まっているとエンジンがかからない安全設計です。また、バキュームチューブが確実に取付いていない場合も、エンジンはかかりません。



- 1 カバーを確実に閉め、ノブで固定します。



- 2 バキュームチューブを反時計回転させ、確実に取付けます。下の写真は、安全スイッチが確実に取付いている状態です。



正しいバキュームチューブと本体側の位置関係



作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時は、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服等を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人や動物がはまらないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 石、金属片、ガラスなど硬質な物や鋭利ものを吸い込まないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、インペラブレード等に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。



指示

- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。
- バキュームとして使用する場合は、肩掛けストラップをし、しっかりハンドルを握って操作をしてください。

ブロー機能を使う

1 作業場所にある石や空き缶、木片、金属片、針金、ガラスなど障害物を取除きます。

2 エンジンを始動します。(P.16 参照)

3 左右いずれかの手でハンドルを持ちます。



4 アクセルトリガーを引き、風量の状況を見ながら、エンジンの回転を調整します。



5 ノズルチューブを地面に近付け、風上から作業を行います。



作業の仕方

肩掛けストラップの調整

肩掛けストラップは作業のしやすさや機械の重量の軽減などの効果がありますが、安全面においても必ず装着してください。

- 1 バキュームチューブの先端が、地面から5～10cm程度離れるくらいにストラップの長さを調整します。この時、マフラー側を身体や衣服から離して保持してください。



- 2 エアークレジットがエルボチューブからダストバッグに自由に流れていることを確認します。バッグがねじれていると、吸い込みが悪くなります。



バキューム機能を使う

- 1 作業場所にある石や空き缶、木片、金属片、針金、ガラスなど障害物を取除きます。
- 2 エンジンを始動します。(P.16 参照)
- 3 ダストバッグの肩掛けストラップを肩にかけます。



- 4 両手で操作します。



- 5 バキュームチューブを地面に近付け、アクセルトリガーを引き、吸い込みの状況を見ながら、エンジンの回転を調整します。



点検整備・清掃の仕方

警告

- 点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回は 10時間運転後	3ヵ月毎又は 50時間運転毎	6ヵ月毎又は100 時間運転毎	1年毎又は 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	燃料量、漏れ	●					P.15
エアクリーナー	清掃			●			P.22
	交換					●	P.22
点火プラグ	清掃				●		P.23
	交換					●	P.23

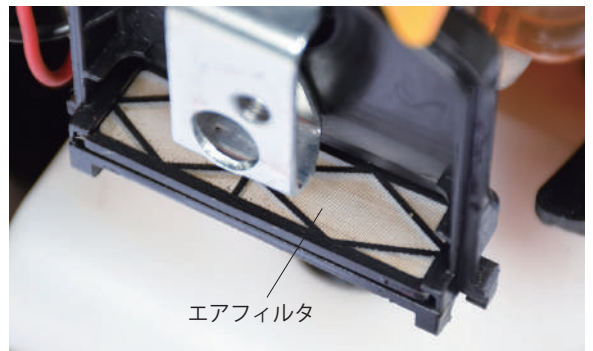
エアクリーナーの点検・清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

- 1 エアクリーナーカバーのツマミを反時計回り回しカバーを取外します。



- 2 エアフィルタの汚れをエアガンやエアダスター等で吹き飛ばしてください。



- 3 エアフィルタは取外せます。エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。



- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

点検整備・清掃の仕方

点火プラグの点検・清掃

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

- 1 プラグキャップを取外します。



- 2 プラグラレンチで、点火プラグを取外します。



- 3 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合はワイヤブラシで清掃します。



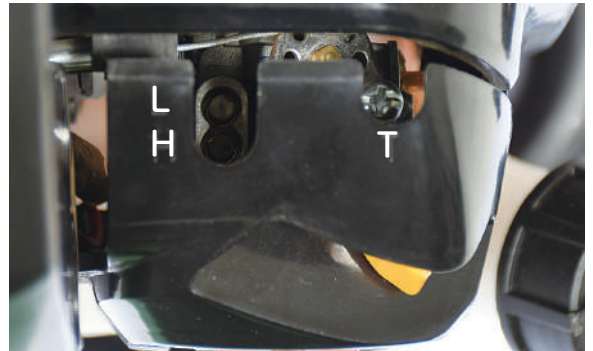
適応点火プラグ	BPM7A (NGK)
---------	-------------

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめ込んでください。はめ込みがあまりいと点火しません。

キャブレターの点検

必要に応じてエンジンの回転数を調整します。



■アイドリング調整 (T)

暖機運転後、アクセルトリガーを放した状態でもエンジンの回転数が高い場合は、アイドリング回転を下げてください。

- 1 ドライバーをアイドリング調整穴(T)に挿込み、ネジを回します。時計回りに回すと回転が上がり、反時計回りに回すと下がります。

★以下の作業は、知識のある方、慣れている方が行ってください。

■高速ニードル (H)

エンジンをかけ、暖気運転後アクセルをいっぱい握った状態で調子を確認します。高速ニードルを時計回りに回す(絞る)と混合比が薄くなり、エンジンがふけるようになります。

※全絞にするとエンジンが焼きつきます。

■低速ニードル (L)

アイドリング回転数調整後、アクセルを握った時、スムーズに回転があがることを確かめます。スムーズに上がらない場合は、時計の針で2～3分程度の範囲で反時計回りに回します。

■リセットの仕方

調整中に何回転したかわからなくなることがあります。その場合は、リセットします。

時計回りに全閉し、反時計回りで1回転がリセット位置です。

点検整備・清掃の仕方

燃料の抜き方

1 漏斗(じょうご)など燃料を入れる容器を準備します。

2 燃料キャップ面を上にして開けます。



3 燃料キャップを本体から取外します。

4 漏斗(じょうご)などにゆっくり入れて、タンクから燃料を抜きます。

5 燃料を密閉容器に入れ、冷暗所に保管し1ヵ月以内に使い切ってください。

長期間使用しない時

本機を2週間以上使用しない時

- 1** 「燃料の抜き方」を参照して、燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドルリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。(燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。)
- 3** エンジンスイッチを OFF 「○側」にしてください。
- 4** チョークレバーは「閉」にします。
- 5** 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 6** 子供の手が届かない場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

●エンジン関連

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
	点火プラグ不良	交換 (P.23 参照)
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる (P.23 参照)
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.15 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
エンジンがかからない	古い燃料を使用している	新しい燃料と交換
	市販の 25 : 1 ~ 50 : 1 対応混合燃料を使用している	40 : 1 の混合燃料を使用する
	初爆を見落とし、リコイルスターターを何度も引き続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり」で点火プラグ、ピストン内部を乾かす (P.27 参照)
エンジンはかかるが回転が上がらない	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.22 参照)
	キャブレターの調整不良	調整 (P.23 参照)

●オイル関連

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
	プライマリーポンプ、燃料ホースの摩耗	交換

故障かな？と思ったら（点火プラグの点検）

点火プラグの点検

①プラグキャップを取外し、付属のプラグレンチでプラグを取外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで取外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②取外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。



④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名	商品コード	
インペラ	3405-a86n	
燃料ホース アッセンブリ	3405hosen	
リコイルスターター アッセンブリ	3405startern	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。
 ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★消耗品、関連商品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
 ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない場合がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

^{*1} お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
^{*2} 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
^{*3} 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



HAIGE

ハイガー産業 株式会社

〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW